

データ活用コンサルティングサービス ご案内



『CRISP-DM』の各フェーズのタスク実行には、**各部門ご担当者のアサインが必要！**

『CRISP-DM』におけるタスク分担

フェーズ	ビジネスご担当者	解析ご担当者	システムご担当者
①ビジネスの理解	○	○	
②データの理解		○	○
③データの準備		○	○
④モデル構築		○	
⑤評価	○		
⑥展開	○		○



各部門が『CRISP-DM』に沿って推進



■『CRISP-DM』のスムーズな推進のために

各フェーズのタスクの内、貴社リソースが不足している部分について外部のリソースを活用することや、各部門間のデータ活用における共通認識をもつための研修の実施が有効です。

データ活用コンサルティングサービス

データ活用研修

■プロジェクト推進方法学び、貴社ご担当者様自身でタスクを実行

『CRISP – DM』の各フェーズで**不足しているノウハウや知識を、ご状況に応じてサポート**するサービス。多数のデータ解析PJを経験してきた当社のデータサイエンティストが、貴社のビジネスKGI/KPIを整理し行うべき分析を確定・推進するための**アドバイスとノウハウを提供**。
アドバイスに基づいて、**各フェーズのタスクをご担当者様自身で行って頂きます**。

- ✓ 各部門が連携して、スムーズにデータ活用PJを推進できる
- ✓ ビジネス成果を得るためのデータ活用PJの推進方法が分かる
- ✓ 次回から、自社でデータ活用PJをハンドリングできる

※本サービスは、準委任型のコンサルティングサービスとなります。

■ 本サービスのご利用にあたって、下記のご担当者（3部門）を選任してください。



1. ビジネスご担当者

ビッグデータ活用の管理者。
内部の調整など、プロジェクト全体のマネジメントご担当者。



2. 解析ご担当者

実際のデータマイニングの解析担当者。
現在の解析ご担当者。または、これからデータ活用を学ばれるご担当者。
※こちらについては、弊社データサイエンティストが代行するサービスもございます。

アイズファクトリー



3. システムご担当者

解析を行うのに必要なデータの管理者。データ保守やSQL等、データベースから抽出できるご担当者。各部署を横断してデータベースの構造に知識のある方。
※データメンテナンスを外部に委託されているお客様はご相談ください。



各フェーズにおける主担当とサービス内容

フェーズ	ゴール	貴社ご担当者様にて実施			貴社選任ご担当者様			弊社サポート
		タスク	ビジネス	解析	システム	システム		
1. ビジネスの理解	データマイニングPJの目標、ビジネスで果たす役割、その効果の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス背景の理解 ・ビジネス目標の設定 ・ビジネス成功基準の設定 ・データマイニング目標の設定 ・データマイニング成功基準の設定 ・プロジェクト実施計画の策定 	○	○	△		ビジネスの背景や目標設定のやり方、データ活用で解決すべき課題への落とし込む手順のアドバイス	
2. データの理解	データの収集、整理、及び俯瞰分析を行い、データの意味と質を理解	<ul style="list-style-type: none"> ・データの収集 ・データの意味的理解 ・データの質的、量的理解 ・データマイニング実施のヒントを見出す ・データの問題点発見 	○	○	○		ビジネス目的に沿ったデータ理解のための観点の提示	
3. データの準備	モデル構築に利用するためのデータを準備	<ul style="list-style-type: none"> ・データの選択（データマイニングに役立ちそうな情報の判断） ・データクレンジング（欠損値、外れ値の処理） ・データのひもづけ ・派生変数の作成 ・解析ツールにあわせた加工、変換 	△	○	○		解析に使うデータの選択方法やデータの加工のやり方についてアドバイス	
4. モデル構築	利用可能なモデリング手法から適切なものを選択し、モデルを作成	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング手法の選択 ・モデルの構築（パラメータ最適化） ・統計学的な評価 	△	○	△		行う解析に合ったツール選択と利用に関するアドバイス	
5. 評価	モデルをビジネス視点から評価し、ビジネス上の目標を達成しているか否かを判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス視点での評価（効果指標の解釈） ・分析プロセスのレビュー 	○	○	△		ビジネス観点から、得られたモデルのレビューを実施	
6. 展開	分析結果をビジネスに展開	<ul style="list-style-type: none"> ・展開計画の策定 ・モニタリングとメンテナンス計画策定 ・最終レポートの作成 ・プロジェクトのレビュー（経験の文書化） 	○	△	○		貴社施策への分析モデルの展開の検討についてのアドバイス	

フェーズ	回数	期間	成果物イメージ（貴社にて実施）	金額目安
1. ビジネスの理解	2～4回	0.5～1ヶ月 (週1回)	PJの目標、ビジネスで果たす役割、その効果の整理	100万円
2. データの理解			データの収集、整理、データの意味と質を理解	
3. データの準備	4～8回 (状況に応じて変更)	1～2ヶ月程度 (状況に応じて変更)	モデル構築に利用するためのデータを準備	200万円
4. モデル構築			利用可能なモデリング手法から適切なものを選択し、モデルを作成	
5. 評価	2～4回	0.5～1ヶ月 (週1回)	モデルをビジネス視点から評価し、ビジネス上の目標を達成しているか否かを判断	100万円
6. 展開			分析結果をビジネスに展開	

※上記は目安となります。

※回数や期間の超過の際は、別途御見積となります。

※課題表の作成やモデル構築など、各フェーズの作業を当社がサポートする場合は、別途御見積となります。

■ データ活用における『事前診断サービス』（有料）

▣ 貴社に足りないリソースや、CRISP-DMの中でサポートの必要なフェーズを明確化！

データ活用をご検討される際、スムーズにPJを推進していただくため、当社のデータサイエンティストによる『事前診断サービス』もご用意しております。

現状貴社でお持ちの、データ活用に必要なリソースを整理し、データ活用コンサルティングサービスによって補完すべきタスクや要素を可視化します。

本サービスによって、データ活用コンサルティングサービスの中で貴社に必要なサポートがわかります。

内容：当社データサイエンティストによる、コンサルティング

回数：1～2回程度